

恐竜11種 太古の楽園

丹波竜地層に卵化石



約1億1千万年前の篠山層群で、新属新種の卵から育った獣脚類(中央)と、他の卵からかえった鳥脚類(左上)や獣脚類の復元想像図(©服部雅人・兵庫県立人と自然の博物館提供)

2006年に大型草食恐竜の丹波竜が発見。大でもう種類だけ、されて以来、篠山層群、少なくとも11種類のではティラノサウルス、恐竜が同じ時期、同じ類など計8種類の恐竜、場所にいた証拠となつた。それら重なる可、恐竜の他にも多様な

多彩な生命育む営巣地

丹波市と篠山市にまたがる地は、恐竜たちの営巣地だった。兵庫県立人と自然の博物館(三田市)が29日に発表した5種類に上る恐竜の卵化石群。発掘された篠山層群は、1億1千万年前(白亜紀前期)の生物の営みを現代にともみえらせた。多くの人々のロマンをかき立てる太古の丹波。多様な生き物を育んだ「生命の楽園」がまた一枚、ペールを脱いだ。

白亜紀前期の生態系浮き彫り

「世界レベルの大発見」。恐竜の卵化石を見た29歳の若き研究者は直感したという。1年半前、兵庫県立人と自然の博物館の研究者から「ちょっと見て」と声をかけられたカルガリ(大分大)の大学院生、田中康平さん。同館とのタッグで、恐竜研究の新たな扉を開いた。

若手直感「世界レベル」

共同研究の大学院生 田中さん



篠山層群から見つかった恐竜の卵化石について発表する田中康平さん(三田市弥生が丘6、兵庫県立人と自然の博物館)

生物の化石が、十数種(プリントを写す)の狭い範囲から見つかると、どんな生物が同じにも篠山層群の時に存在したか確定で、一枚のスペース、世界で歴史、ウーリサス・ラモーサ・アミキティアエと

のページを埋めるため、スといふ字は日本名(指標となる)。調査「卵の石」というキリに続いて4例目だ。を担う三枝春生主任研究員(57)は、その意義にちなんで「一枚分かれを強調する。発掘された卵は0.22×0.5mmと薄く、卵は、骨も歯から独り壊れやすい。潮流に流れて分類されておられず、泥が静かになり、学名がつけられる。また、地層のため化石、国内初、篠山層群から見つかった化石として残ったらしい。見つかった化石として、新属新種のニッポノは「タバンディタニス」で博物館が展示される(山岸洋介)

7月21日(8月31日)には、同館(6079)で博物館が展示される(山岸洋介)

恐竜の卵 国内では希少

丹波竜が出た地層、篠山層群は約90点ものであった日本古生物学会に卵化石見つかったが、に出席するため田中さん(36)は研究の糸口を求め、卵化石の表面様子を

一瞥で見た瞬間、田中さんは「極めて珍しいタイプ」と衝撃を受けたという。「卵は米国やアジア大陸での発見例が多く、今回は『日本でも』と興奮した。すでに共同研究の話がましまり、標本をカナダへ持ち帰った。表面とミクロの薄さに切った断面を電子顕微鏡で分析し、新属新種を含む5種類の卵があることを突き止めた。

- ① 2006年に草食恐竜の丹波竜が発見されて以来、篠山層群では、何が発見されてきましたか？
- ② 今回卵化石が発見されたことから、この時期、同じ場所で少なくとも何種類の恐竜が同じ場所にいたと考えられますか？
- ③ 発掘された卵の大きさなど、どんな状態ですか？
- ④ この記事を読んだ感想とを書きましよう。

種類

名前

NIEワークシート／中学校、高校